

行すや或に中位多財から引き上りて混業に及ぶに  
 幸や刻日の形勢不穩に傾き、未だ右や奔  
 ・伊那両署は力一、杞憂と持て、赤穂以外  
 沿線各所に官私股の蓄積官を配置し混業  
 亦る警戒線を張り成りたる者中一也。  
 混業の起るは、松島工場、石炭に在り、工場等、  
 支社に通報せられ、殊に、本日記事諸君と相互  
 勵遣懐多き緊需急の手配を為し、一方混業と  
 起し、一シ。右の職工等は、松島、神戶、廣島に集  
 合し、一に帰定するに、より、年中、日本部に懸け、  
 石炭のは、驛新、民家、に、因り、形勢の翻に、  
 一也に、混業一に、行つた。

四 混業国本部の状況

今何と時、豪雨並に、本部に懸り、止るは、混業員は、  
 一方、御旗を先頭に、五ヶ所、本部、を、出で、廣小、路  
 邊、希、福、祥、前、に、於て、七、時、半、の、上り、電、車、下、り  
 即ち、子、部、員、不、乗、車、に、到、り、同、一、の、二、美、歳、  
 と、連、呼、び、之、れ、と、迎、へ、極、に、一、隊、と、編、成、し、雨、中、全  
 所、に、至、り、大、森、森、運、送、を、行、つ、た、九、時、半、本、部、に、  
 引、上、り、終、本、外、敷、十、名、の、混、業、員、説、き、上、り、混  
 業、に、當、り、混、業、と、其、限、運、送、車、の、當、り、混、業、員、  
 時、半、後、合、一、也。

五月廿五日

△ 形勢刻一刻陰翳化し下俾即部員日下降